

### 文章を読む3

前回の続きです。(G)の最初の字 **類** の旁 **頁** に見覚えはあ



りますか。これは「願」「頭」と同じ「頁」で

す。次の **焼** は、偏はよくわかりませんが、旁は「堯」でしょう。旁が「堯」の字は限られていて「焼」くらいしか思い当たりません。

すると **類** は「類」? で「類焼」。次の **法** は頻

出する字ですが「後」という字です。この字だけ見ると「後」という字にも

見えます。「類焼後」と「類焼後」では「類焼後」の方が自然でしょう。

(H)は **引** は「引」、**續** は前回出てきましたが「続」、次の **法** は重要で

す。偏の **讠** は **言** と書かれています。**讠** と書かれることもありますが、これ

が「言」(ごんべん)です。今も中国の略字では **讠** と書きます。**法** の旁の

上の方は **夂** と書いてありますので、言偏と合わせると「諸」となります。

次の **色** は「色」です。難しい崩しですが「諸色」(様々な物という意味)

という言葉は頻出する言葉です。**高** は **高** という感じですが、「高」という

字です。江戸時代は「石高」といって米の量で土地の価値などを測りま

したので、「高二拾石」など、よく出てくる字です。次の **直** は **直** という

感じはつかめると思いますが、「直」という字です。「高直」でなんと読むかということ、「たかね」と読みます。「直」は「値」という字の代わりに使っているのです。



(H)をまとめると、「引続諸色高直(値)」(引き続き諸色高値)となります。

最後に左の字ですが、これは「旁」という字で「かたがた」と読みます。割とよく出てきます。

この文書を読み出して、3回が過ぎましたが、まだ3行目です。こんなペースで大丈夫か心配になりますが、基本的な考え方や読み方を学び、コツをつかんで、読むのに慣れてくると、もっと早いペースで読めますので、焦らずにやるのが大切だと思います。

